

平成21年度対策の概要

1 ニホンジカのモニタリング調査

- ・糞塊密度法により、県内82コースを調査し、個体数の増減を推定。

(剣山地区については、4コース調査)

予算額 1,250千円(委託事業)

2 剣山山系におけるニホンジカ個体数調整業務(ふるさと雇用再生特別基金事業)

- ・三好市見ノ越に囲いわなを2基設置し、ニホンジカを捕獲する。

また、捕獲したニホンジカのデータ整理を行い、捕獲技術普及のための資料を作成する。

事業費 4,496千円(委託事業)

3 剣山山系におけるニホンジカ食害防止及び生息密度調査業務

(緊急地域雇用創出特別交付金事業)

- ・剣山での生息密度調査、樹木ガードの設置

予算額 2,972千円(委託事業)

4 防鹿柵の管理、効果調査(剣山地域ニホンジカ等被害対策連絡会)

- ・自然環境整備交付金及び協議会で設置した防鹿柵の網部分の引き上げ、引き下げ作業及び補修作業の実施。

- ・植生調査の実施。(防鹿柵設置時に設けられた調査区 14箇所)

※平成19年度に環境省の自然環境整備交付金により、シカ防護ネットを設置し、希少種の保護に取り組んでいる。

(事業費：1,000万円、事業量：防鹿柵23セット)

5 四国4県連携事業(事務局 徳島県)

- ・四国4県の県境域の生息密度調査及び被害状況調査。

(H20年度から継続実施)

事業費 4,000千円

6 徳島大学の研究事業(剣山など高標高域におけるニホンジカ行動特性の解明)

- ・剣山地域においてニホンジカを捕獲し、GPSを装着した上で放逐する。1年程度経過した後にGPSを回収し、高標高域における環境選択、季節移動様式など行動特性を把握する。

平成22年度事業計画の概要

1 ニホンジカのモニタリング調査（継続）

- ・糞塊密度法により、県内82コースを調査し、個体数の増減を推定。

（剣山地区については、4コース調査）

予算額 1,250千円（委託事業）

2 剣山山系におけるニホンジカ個体数調整業務（緊急地域雇用創出特別交付金事業）

- ・三好市見ノ越に囲いわなを2基設置し、ニホンジカを捕獲する。

また、捕獲したニホンジカのデータ整理を行い、捕獲技術普及のための資料を作成する。

予算額 3,957千円（委託事業）

3 剣山山系における希少植物植生調査、ニホンジカ生息状況調査及び食害防止対策事業 （緊急地域雇用創出特別交付金事業）

- ・平成21年度に樹木ガードを設置した樹木の回復状況の評価、食害防止対策が十分でない区域に樹木ガード、防鹿柵を追加して設置。

また、植生影響調査、生息密度調査を実施し、剣山山系のニホンジカ保護管理の基礎データを収集する。

予算額 3,126千円（委託事業）

4 三嶺におけるニホンジカ食害防止業務（緊急地域雇用創出特別交付金事業）

- ・三嶺周辺での防鹿柵、樹木ガードの設置

予算額 6,598千円（委託事業）

5 剣山地域ニホンジカ被害対策推進協議会（仮称）の設置（事務局 西部総合県民局）

- ・徳島県の関係市町、学識経験者、県（本庁、県民局関係部局等）、環境省、四国森林管理局、県内外の自然保護団体等で構成する協議会を設置し、ニホンジカの食害防除対策に係る効率的な展開を推進する。

6 防鹿柵の管理、効果調査（剣山地域ニホンジカ被害対策推進協議会）

- ・自然環境整備交付金及び協議会で設置した防鹿柵の網部分の引き上げ、引き下げ作業及び補修作業。

- ・植生調査（防鹿柵設置時に設けられた調査区 14箇所）

7 四国4県連携事業（事務局 四国4県で協議）

- ・安全な捕獲方法である囲いわなでの捕獲を試験実施し、技術の確立と普及を図る。

※各県の鳥獣対策部門と被害対策部門が、共同で試験や協議に参加する。

8 徳島大学の研究事業（剣山など高標高域におけるニホンジカ行動特性の解明）

・剣山地域において、平成21年度に、GPSを装着した上で放逐したニホンジカのGPSを回収し、高標高域における環境選択、季節移動様式など行動特性を把握する。